

1. 科目名 (単位数)	国語 (書写を含む) (小) (2 単位)	3. 科目番号	EDEL2301 SJMP2381						
2. 授業担当教員	新井 美也子								
4. 授業形態	講義 演習 討議 発表	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めることは、私たちが豊かな言語活動を展開するために必要不可欠である。加えて子どもたちに国語への関心を高め、国語を尊重する態度を育てるためには、指導者が母語 (日本語) に愛着心を抱き、日本語についての確かな知識を身に付けることが大切である。指導者が言語感覚・能力を培い、思考力・判断力・表現力を育成することが、感性や情緒をはぐくみ、人間形成や社会参加につながることを理解した上で、子どもたちの発達段階に応じた国語教育のあり方について学習する。								
8. 学習目標	<p>国語に対する関心を深め、思考力や想像力、言語感覚を磨き、国語を尊重する態度を育てるためには、指導者自らが、日本語についての正しい知識を身に付ける必要がある。そのために、次のことを学習目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本語の現状と、日本語を取り巻く課題、問題点等を理解することができる。 2 小学校の「国語科」を指導する教師として必要な「日本語」についての基礎的知識を身に付けることができる。 3 「国語科」の教材としての「日本語」を考えることができるようになる。 4 我が国の言語文化を継承・発展させ、よりよい言語生活の実現に向けて、これからの国語力や国語教育について考えることができるようになる。 								
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. アサシメント 適宜指示する。 2. レポート課題 「周囲で見聞きする日本語の表現・理解に関する疑問点や問題点を挙げ、その原因と解決方法を自分はどう考えるか」について、授業での学習内容を踏まえ、1200字程度でまとめる。このレポートの内容を踏まえた期末試験を行う。」 								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 沖森卓也編著『図解日本語』三省堂 2022 年 2 文部科学省『小学校学習指導要領解説国語編』東洋館出版 								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本語 (国語) の現状と、日本語を取り巻く課題、問題点等を理解することができたか。 2 小学校の「国語科」を指導する教師として必要な「日本語」についての基礎的知識を身につけることができたか。 3 我が国の言語文化を継承・発展させ、よりよい言語生活の実現に向けてこれからの国語力や国語教育について考えることができたか。 <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>授業への積極的参加態度</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>宿題、レポート、小テスト等</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>期末試験</td> <td>20%</td> </tr> </table> <p>上記のほか、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の条件である。</p>			授業への積極的参加態度	40%	宿題、レポート、小テスト等	40%	期末試験	20%
授業への積極的参加態度	40%								
宿題、レポート、小テスト等	40%								
期末試験	20%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>国語科教師として子どもたちを指導するからには、日本語を話し(聞き)、読み、書くことにおいて、子どもたちの見本にならなければなりません。この科目では、国語科教師として必要な日本語についての知識を深めるとともに、子どもたちに何を指導すればよいのかを考えます。</p> <p>講義内容では、学生による発表とそれに基づく討議の機会を多く取り入れ、個々の理解を深めていきます。そのため、毎回の事前学習が積極的な授業参加の前提になります。主体的に学び、国語科教師にふさわしい国語の力を身に付けていきましょう。</p>								
13. オフィスアワー	別途指示します。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	1、オリエンテーション 小学校で求められる国語の力・言葉の力とは 2、学習指導要領改訂のポイント	事前学習	シラバスを読み、学習目標と授業の内容・流れを理解しておく。						
		事後学習	小学校学習指導要領解説編「国語」のポイントについて整理する。						
第2回	1、国語教育の歴史 ・日本語教育と国語科教育 ・第一言語と国語 ・国語に関する世論調査にみる国語の課題	事前学習	授業の進め方や参加の仕方を確認しておく。						
		事後学習	国語科の指導内容について、自分の言葉で説明できるように整理する。						
第3回	1、日本語の発音や音の仕組み 2、国語科学習指導の実際 (高学年の指導の実際—動画視聴)	事前学習	教科書を熟読し、音声・音韻・音節・音節構造について概観しておく。 動画の授業教材「注文の多い料理店」を熟読しておく。						
		事後学習	動画視聴から、国語科学習指導ではどのような事項が重要か整理する。						
第4回	1、日本語のアクセントの機能・型・表記法	事前学習	教科書を熟読し、アクセントについて概観し						

	2、「読むこと」の指導についてのポイント (高学年の指導を事例にして)		ておく。 「読むこと」の教材「三人の旅人たち」を熟読しておく。
		事後学習	「読むこと」の指導事項から、どのような言語活動が考えられるか自分なりに整理する。
第5回	1、文字の種類と漢字の基礎的知識 2、「読むこと」の言語活動体験 (高学年の「文学的文章の理解に関する指導」について)	事前学習	教科書を熟読し、文字の種類や漢字の基礎について概観しておく。
		事後学習	実際に体験して感じた難しさに対し、どのような支援が考えられるか整理する。
第6回	1、万葉仮名・平仮名・片仮名 2、「読むこと」の指導についてのポイント (中学年の「説明的文章の要約に関する指導」について)	事前学習	教科書を熟読し、万葉仮名、平仮名、片仮名について概観しておく。 「読むこと」の教材「めだか」を熟読しておく。
		事後学習	「読むこと」の指導事項から、どのような言語活動が考えられるか自分なりに整理する。
第7回	1、ローマ字の綴り方・現代表記の原則 2、「書くこと」の指導についてのポイント (低学年の指導を事例として)	事前学習	教科書を熟読し、ローマ字について概観しておく。
		事後学習	「書くこと」の指導事項から、どのような言語活動が考えられるか自分なりに整理する。
第8回	1、語や語彙の意味、語構成と造語法、語彙の意味関係 2、「書くこと」の言語活動体験 (低学年の「見学したことの報告文を書く」指導について)	事前学習	教科書を熟読し、語彙について概観しておく。
		事後学習	実際に体験して感じた難しさに対し、どのような支援が考えられるか整理する。
第9回	1、正しい敬語表現 2「話すこと・聞くこと」の指導についてのポイント。	事前学習	教科書を熟読し、敬語表現に対する疑問点を概観しておく。
		事後学習	「話すこと・聞くこと」の指導事項から、どのような言語活動が考えられるか整理する。
第10回	1、方言と共通語 2、「我が国の伝統文化に関する指導」についてのポイント。	事前学習	プリントを熟読し、方言と共通語に関して概観しておく。
		事後学習	ことわざ、故事成語、古文等の正しい知識を整理する。
第11回	1、学校文法①「文の構造・用言」 2、万葉・古今の桜歌と現代桜歌を題材とした知識構成型ジグソー法の体験	事前学習	教科書を熟読し、文の構造や用言について概観しておく。
		事後学習	話し合い活動の一例「知識構成型ジグソー法」について整理する。
第12回	1、学校文法②「自立語・付属語」 2、万葉・古今の桜歌鑑賞を参考とした短歌、川柳、俳句等の創作	事前学習	教科書を熟読し、自立語と付属語について概観しておく。
		事後学習	国語科教師としてふさわしい言語感覚について整理する。
第13回	1、書写指導の実際 2、書写の作品制作（短歌、川柳、俳句等）	事前学習	小学校学習指導要領解説国語編の書写に関する事項を読んでおく。
		事後学習	姿勢・道具の持ち方・字形・筆順等まとめる。 書写の作品を仕上げる。
第14回	1、課題レポート発表、それに基づく討議	事前学習	発表用の課題レポートを仕上げておく。
		事後学習	レポートの検討された箇所を確認し、さらに考察を深め、修正する。
第15回	1、国語・書写の振り返り 2、確認のためのレポート作成 3、総括 4、期末試験	事前学習	小学校学習指導要領「国語」について重要な事項を読んでおく。
		事後学習	国語科教師として身に付けておくべき知識や技能を整理し、学習を振り返る。
期末試験			